



### 外務省日伯交流年認定事業217

## 「日本人ブラジル移住100周年記念フェア」を展開

### 2007年度ブラジルセラードCPCチャンピオンカップ入荷！

株式会社ヒロコーヒー(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:山本光弘、以下ヒロコーヒー)は、日本人ブラジル移住100周年記念の取り組みの一環として、「笠戸丸」に始まった日系ブラジルコーヒーの歴史をご紹介しますと共に、現在の日系人コーヒー、セラードCPCチャンピオンカップなど、最先端のブラジルコーヒーをスポットに据え、2008年3月17日～5月末まで、期間限定(商品により数量限定)で順次展開していきます。

ヒロコーヒーでは毎年世界最大のコーヒー生産国のブラジルコーヒーにスポットに据え販売、普及に努めてまいりました。特に近年焙煎責任者が積極的にブラジル現地の生産現場に赴き、地球の裏側で同じコーヒーに情熱を傾ける人たちと直接触れ合い顔を合わせ交流を深めています。今年は第1回目のブラジル移民船「笠戸丸」が神戸港を出航してから100周年を迎える記念すべき年となります。移民後コーヒー農園での労働に従事し、のちに2世3世による目覚ましい活躍により発展をとげたコーヒー産業。コーヒーに携わる企業の一員として、そうした日系ブラジル移民の苦難の歴史や、永年の功績を称え「日本人ブラジル移住100周年記念フェア」を展開することになりました。尚、本取り組みは外務省「日伯交流年事業」に認定されています。

今回紹介するのは日系移民との関わりも深いセラードで毎年行われているコーヒーの品評会CPCコンテスト(CUP OF PROGRESSIVE CERRADO)で見事にナチュラル部門、ウォッシュ部門で各1位に選ばれたコーヒーです。

まず07～08ナチュラル部門の1位。今回は見事にヒロコーヒー契約指定の「ファゼンタ・ボタニカ2007」が選ばれました。ミネラルウォーターの産地としても知られるシャパドン地区は自然の恩恵を十分に受け火山灰土壌に恵まれたまさにコーヒー栽培の理想郷ともいえます。ワインのような果実フレーバーも微量に感じ、さらにクリーミーな口当たりとセラード特有のチョコレートフレーバーが秀逸です。

07～08ウォッシュ部門の1位は「ファゼンタ・カフェランジャ2007」。同じくシャパドン地区の産地でメープルシロップやカラメルのような甘い香りが第一印象にあり、また茶の香りも感じ複雑で飲む人によって印象も変わってきます。雑味のないクリアな味もチャンピオンになった理由の一つです。

そのほかにも日系人ナカオミツオ氏の「カタンズーバ農園」(ミナス・ジェライス州)、地域社会と環境に配慮しながらコーヒーを生産していることを示すGood Inside認証を得ている「サンタクルス農園」(ミナス・ジェライス州)など全6アイテムのコーヒーを順次展開してまいります。

ヒロコーヒーでは「日本人ブラジル移住100周年記念フェア」を通じ、今後も世界最大のコーヒー生産国であるブラジルとの交流を更に深め、両国のコーヒー産業の発展に貢献してまいります。



セラードコンテストとは・・・毎年10月にブラジルでCPCコンテスト(CUP OF PROGRESSIVE CERRADO)と呼ばれるコーヒーの品評会が行われる。セラードコーヒー生産者連盟農園のコンテストで”スペシャルティ”な味とはどういった味・品種・立地・栽培方法・精製方法で生豆を完成させたかを公開し、安定的にスペシャルティコーヒーを生産するのに各国バイヤー審査員が当年豆を評価する非常に意義深いコンテストです。

#### 【会社概要】

会社名: 株式会社ヒロコーヒー  
所在地: 大阪府吹田市江坂町1丁目7-7  
代表取締役社長: 山本 光弘  
設立: 1977年5月  
事業内容: コーヒー豆の販売、直営店舗の運営  
ケーキ・パン製造販売 等

#### 【本件に関するお問い合わせは】

株式会社ヒロコーヒー 直営部 広報担当 渥美  
TEL & FAX 072-722-1075  
E-mail hiroinfo@hirocoffee.co.jp



### 外務省日伯交流年認定事業217

## 「日本人ブラジル移住100周年記念フェア」を展開

### 2007年度ブラジルセラードCPCチャンピオンカップ入荷！

株式会社ヒロコーヒー(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:山本光弘、以下ヒロコーヒー)は、日本人ブラジル移住100周年記念の取り組みの一環として、「笠戸丸」に始まった日系ブラジルコーヒーの歴史をご紹介しますと共に、現在の日系人コーヒー、セラードCPCチャンピオンカップなど、最先端のブラジルコーヒーをスポットに据え、2008年3月17日～5月末まで、期間限定(商品により数量限定)で順次展開していきます。

ヒロコーヒーでは毎年世界最大のコーヒー生産国のブラジルコーヒーにスポットに据え販売、普及に努めてまいりました。特に近年焙煎責任者が積極的にブラジル現地の生産現場に赴き、地球の裏側で同じコーヒーに情熱を傾ける人たちと直接触れ合い顔を合わせ交流を深めています。今年は第1回目のブラジル移民船「笠戸丸」が神戸港を出航してから100周年を迎える記念すべき年となります。移民後コーヒー農園での労働に従事し、のちに2世3世による目覚ましい活躍により発展をとげたコーヒー産業。コーヒーに携わる企業の一員として、そうした日系ブラジル移民の苦難の歴史や、永年の功績を称え「日本人ブラジル移住100周年記念フェア」を展開することになりました。尚、本取り組みは外務省「日伯交流年事業」に認定されています。

今回紹介するのは日系移民との関わりも深いセラードで毎年行われているコーヒーの品評会CPCコンテスト(CUP OF PROGRESSIVE CERRADO)で見事にナチュラル部門、ウォッシュ部門で各1位に選ばれたコーヒーです。

まず07～08ナチュラル部門の1位。今回は見事にヒロコーヒー契約指定の「ファゼンタ・ボタニカ2007」が選ばれました。ミネラルウォーターの産地としても知られるシャパドン地区は自然の恩恵を十分に受け火山灰土壌に恵まれたまさにコーヒー栽培の理想郷ともいえます。ワインのような果実フレーバーも微量に感じ、さらにクリーミーな口当たりとセラード特有のチョコレートフレーバーが秀逸です。

07～08ウォッシュ部門の1位は「ファゼンタ・カフェランジャ2007」。同じくシャパドン地区の産地でメープルシロップやカラメルのような甘い香りが第一印象にあり、また茶の香りも感じ複雑で飲む人によって印象も変わってきます。雑味のないクリアな味もチャンピオンになった理由の一つです。

そのほかにも日系人ナカオミツオ氏の「カタンズーバ農園」(ミナス・ジェライス州)、地域社会と環境に配慮しながらコーヒーを生産していることを示すGood Inside認証を得ている「サンタクルス農園」(ミナス・ジェライス州)など**全6アイテム**のコーヒーを順次展開してまいります。

ヒロコーヒーでは「日本人ブラジル移住100周年記念フェア」を通じ、今後も世界最大のコーヒー生産国であるブラジルとの交流を更に深め、両国のコーヒー産業の発展に貢献してまいります。



セラードコンテストとは・・・毎年10月にブラジルでCPCコンテスト(CUP OF PROGRESSIVE CERRADO)と呼ばれるコーヒーの品評会が行われる。セラードコーヒー生産者連盟農園のコンテストで”スペシャルティ”な味とはどういった味・品種・立地・栽培方法・精製方法で生豆を完成させたかを公開し、安定的にスペシャルティコーヒーを生産するのに各国バイヤー審査員が当年豆を評価する非常に意義深いコンテストです。

#### 【会社概要】

会社名: 株式会社ヒロコーヒー  
所在地: 大阪府吹田市江坂町1丁目7-7  
代表取締役社長: 山本 光弘  
設立: 1977年5月  
事業内容: コーヒー豆の販売、直営店舗の運営  
ケーキ・パン製造販売 等

#### 【本件に関するお問い合わせは】

株式会社ヒロコーヒー 直営部 広報担当 渥美  
TEL & FAX 072-722-1075  
E-mail hiroinfo@hirocoffee.co.jp